



# 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月9日

上場会社名 日本シイエムケイ株式会社  
コード番号 6958 URL <https://www.cmk-corp.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経理担当  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-5323-0231  
(氏名) 石坂 嘉章  
(氏名) 手戸 邦彦

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	22,871	8.3	749		2,112	219.6	1,430	591.6
2024年3月期第1四半期	21,127	7.0	56	90.6	661	0.4	206	52.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,368百万円 (160.5%) 2024年3月期第1四半期 908百万円 (66.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	20.08	
2024年3月期第1四半期	3.49	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	134,259	73,928	53.4
2024年3月期	131,606	72,913	53.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 71,708百万円 2024年3月期 70,815百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		19.00	19.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	3.8	5,000	41.7	4,200	12.4	3,500	9.2	49.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	71,234,316 株	2024年3月期	71,234,316 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期1Q	3,739 株	2024年3月期	3,729 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	71,230,578 株	2024年3月期1Q	59,211,934 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、景気は緩やかな回復の動きが見られましたが、継続的な物価上昇や急激な為替変動など、先行き不透明な状況が続いております。世界経済においても、ウクライナや中東情勢などにおける地政学リスクや中国経済の減速など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループ主力の車載分野においては、日系自動車メーカーの中国における販売不振や、国内における稼働停止影響などにより受注は低調に推移しました。

当社グループは、注力分野の走行安全系向けの販売が順調に推移したことや為替影響などにより、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は228億71百万円（前年同四半期比8.3%の増収）となりました。

利益面につきましては、受注低迷により、生産工場の稼働率は低調に推移しているものの、前期の部品不足からのサプライチェーンの混乱による低稼働からは稼働率は向上し、当第1四半期連結累計期間の営業利益は7億49百万円（前年同四半期は56百万円の営業利益）となりました。

経常利益は、営業利益の増加や円が対米ドル及びタイバツで通貨安に推移したことなどによる為替差益13億31百万円を計上したため、21億12百万円（前年同四半期比219.6%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、14億30百万円（前年同四半期比591.6%の増益）となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

#### (日本)

国内の自動車販売台数は減少したものの、為替影響などにより車載向けの販売が増加し、売上高は134億74百万円（前年同四半期比3.0%の増収）となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、生産工場の稼働率向上の影響などにより、セグメント利益は5億77百万円（前年同四半期は22百万円のセグメント利益）となりました。

#### (中国)

日系自動車メーカーの中国における販売不振があったものの、為替影響などにより、車載向けの販売が増加し、売上高は45億2百万円（前年同四半期比10.9%の増収）となりました。

利益面では、売上高の増加の影響に加え、人民元が対米ドルで通貨安に推移したことなどの影響により、セグメント利益は38百万円（前年同四半期比58.5%の増益）となりました。

#### (東南アジア)

注力分野の走行安全系向けの販売が順調に推移したことや、為替影響などにより、車載向けの販売が増加し、売上高は38億38百万円（前年同四半期比32.9%の増収）となりました。

利益面では、売上高の増加の影響に加え、生産工場の稼働率向上の影響などにより、セグメント利益は3億49百万円（前年同四半期は1億70百万円のセグメント損失）となりました。

#### (欧米)

欧州の自動車販売台数が減少した影響などを受けて、車載向けの販売が減少し、売上高は10億56百万円（前年同期比4.1%の減収）となり、セグメント利益は41百万円（前年同四半期比46.9%の減益）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、626億82百万円となりました。これは、主にタイの生産工場への設備投資や配当金の支払いなどにより現金及び預金が36億81百万円減少し、円安による為替の影響等により受取手形及び売掛金が14億40百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7.8%増加し、715億42百万円となりました。これは、主にタイの生産工場への設備投資などにより、有形固定資産が48億34百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.0%増加し、1,342億59百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.7%増加し、298億53百万円となりました。これは、主に長期借入金からの振替により1年内返済予定の長期借入金が6億25百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、304億78百万円となりました。これは、主にタイの生産工場への設備投資のための借入実行により長期借入金が2億57百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、603億31百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.4%増加し、739億28百万円となりました。これは、主に円安による為替の影響により為替換算調整勘定が7億29百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,336	21,655
受取手形及び売掛金	18,540	19,981
電子記録債権	2,073	1,899
商品及び製品	9,961	10,031
仕掛品	4,045	4,041
原材料及び貯蔵品	3,280	3,277
その他	1,994	1,834
貸倒引当金	△38	△40
流動資産合計	65,195	62,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,918	12,734
機械装置及び運搬具（純額）	19,513	19,198
土地	7,052	7,055
建設仮勘定	17,062	22,383
その他（純額）	1,726	1,736
有形固定資産合計	58,273	63,108
無形固定資産		
のれん	21	20
その他	410	654
無形固定資産合計	431	674
投資その他の資産		
投資有価証券	3,865	4,015
退職給付に係る資産	1,933	1,950
その他	1,890	1,817
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	7,666	7,760
固定資産合計	66,371	71,542
繰延資産		
社債発行費	38	34
繰延資産合計	38	34
資産合計	131,606	134,259

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,568	10,901
電子記録債務	1,928	2,108
1年内償還予定の社債	2,492	2,492
1年内返済予定の長期借入金	6,427	7,052
未払法人税等	338	523
賞与引当金	800	1,141
製品保証引当金	86	77
その他	4,859	5,556
流動負債合計	28,501	29,853
固定負債		
社債	3,273	3,273
長期借入金	25,044	25,301
退職給付に係る負債	178	180
資産除去債務	499	499
その他	1,195	1,223
固定負債合計	30,190	30,478
負債合計	58,692	60,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,096	24,096
資本剰余金	18,752	18,752
利益剰余金	17,523	17,600
自己株式	△2	△2
株主資本合計	60,369	60,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,870	1,972
為替換算調整勘定	7,948	8,677
退職給付に係る調整累計額	627	612
その他の包括利益累計額合計	10,445	11,262
非支配株主持分	2,098	2,219
純資産合計	72,913	73,928
負債純資産合計	131,606	134,259

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	21,127	22,871
売上原価	18,535	19,255
売上総利益	2,591	3,616
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	872	1,026
賞与引当金繰入額	163	133
退職給付費用	14	18
貸倒引当金繰入額	1	△0
製品保証引当金繰入額	—	13
その他	1,484	1,674
販売費及び一般管理費合計	2,535	2,866
営業利益	56	749
営業外収益		
受取利息	8	18
受取配当金	62	69
受取賃貸料	18	18
為替差益	557	1,331
その他	88	57
営業外収益合計	735	1,496
営業外費用		
支払利息	77	88
支払手数料	5	4
租税公課	10	18
その他	37	21
営業外費用合計	130	133
経常利益	661	2,112
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	20
固定資産除却損	93	118
投資有価証券評価損	58	—
特別損失合計	152	138
税金等調整前四半期純利益	508	1,974
法人税等	305	523
四半期純利益	203	1,451
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	206	1,430



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	203	1,451
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	170	102
為替換算調整勘定	538	830
退職給付に係る調整額	△3	△15
その他の包括利益合計	705	917
四半期包括利益	908	2,368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	869	2,246
非支配株主に係る四半期包括利益	39	121

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南 アジア	欧米	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	13,078	4,058	2,888	1,102	21,127	—	21,127
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,078	4,058	2,888	1,102	21,127	—	21,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	431	3,135	3,394	—	6,961	△6,961	—
計	13,509	7,193	6,283	1,102	28,088	△6,961	21,127
セグメント利益又は 損失(△)	22	24	△170	78	△44	100	56

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額100百万円には、セグメント間取引消去391百万円、全社費用△291百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南 アジア	欧米	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	13,474	4,502	3,838	1,056	22,871	—	22,871
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,474	4,502	3,838	1,056	22,871	—	22,871
セグメント間の内部 売上高又は振替高	316	3,769	4,535	—	8,621	△8,621	—
計	13,791	8,271	8,373	1,056	31,493	△8,621	22,871
セグメント利益	577	38	349	41	1,007	△257	749

(注) 1. セグメント利益の調整額△257百万円には、セグメント間取引消去177百万円、全社費用△434百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	1,245百万円	1,369百万円